

笑いで薬物防止 NAMARA

笑いを通じて薬物乱用に
ストッパー。新潟市のお

笑い集団「NAMARA」

(ナマラ)が13日、県警組
織犯罪対策課から「薬物乱
用防止活動推進団体」の委
嘱を受けた。所属するお笑
い芸人が出演するステーシ
ョンイベントなどを通じて、

若者らに違法薬物の乱用防
止を訴えていくという。

ナマラは、芸能人による
違法薬物の使用が多く発覚
した2009年、県警が県
内の芸能事務所などを対象
にした講習会に出席。その
際、県警に広報活動への協
力を申し出た。

翌年には県警が用意し
た薬物乱用防止を呼びかけ
るチラシを、イベント会場
などで1万5000枚配
布。県内で開かれた薬物防
止イベントに所属芸人を無
償で参加させ、トークショ
ーを開くなどの活動も行っ
てきた。

県警が薬物乱用防止で特
定の団体に委嘱するのは初
めて。これまでの活動に対
する感謝状も同時に手渡し
された江口歩代表(46)は、「も
っと多くの人々、団体が活

動に加わるきっかけ作りも
していきたい」と抱負を語
った。

県警組織犯罪対策課によ
ると、県内での違法薬物に
かかわる犯罪の逮捕者数は
増加傾向にあり、09年は1
15人と過去10年で最高、
10年は98人で同じく3番目
となっている。



委嘱式の後、握手をするNAMARAの江口代表(右)と江口史朗(左)と県警組織犯罪対策課長